

# 萩市企業景況調査

DI方式

平成25年 4月～ 6月期 実績  
平成25年 7月～ 9月期 予測

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？

DI は各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合)  
- (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※設備投資は割合 (%)

《調査機関》萩商工会議所

## 業況は若干ではあるが改善の兆し

### 景況の概要

平成25年7月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率93%)

**生産・売上** 前期比DIは、行楽や観光シーズンに入ったことなどで建設業を除く業種が増加(平均23.2ポイント)し、前年同期比は製造業、サービス業が増加(平均0.0ポイント)となった。今後(7～9月期)の見通しでは、観光関連業を除く業種が増加または横ばいと予想し改善の傾向が見られる(平均10.7ポイント)。

**収益** 収益(経常利益)の前期比DIは建設業を除く業種が増加(平均14.3ポイント)、前年同期比は卸売業、観光関連業を除く業種が増加(平均8.9ポイント)している。今後の見通しは観光関連業を除く業種が増加または横ばいと予想し、生産・売上と同様に改善の傾向が見られる(平均5.4ポイント)。

**資金繰り** 全業種平均の前期比DIがプラスに転じ、今後の見通しについてもマイナス幅が減少し改善傾向。

**従業員数** 卸売業は過剰、小売業は適正、他の業種は不足感があるという結果となった。

**経営上の問題点** ①需要の停滞 38.9% ②人員の確保難 16.7%、③同業他社との競争激化 13.0%の順となっているほか、後継者問題や仕入価格の上昇、消費者ニーズの変化への対応などが挙げられている。

**今後の業界動向** 各業界の景気見通しは、建設業が横ばい、他の業種は停滞(平均▲21.4ポイント)すると予想。特に観光関連業の停滞予想が目立っている。

**景況に関する生の声** ■製造業 瀬つきあじの不漁が響いている(水産加工)。市内の売上高は横ばいだが、市外の新規顧客獲得及び新所品により売上高が増加(水産加工)。円安の影響で輸入資材が値上がりし、営業が難しくなった(印刷業)。景気はやや明るい見込み(夏みかん加工)。■卸売業 人口減少による需要減少に伴い、同業他社との競争激化(シェアの奪い合い)により利益の悪化が徐々に顕著になってきている(飲料水)。■小売業 売上は相変わらず増加せず、また、大型商業施設や他地域との競争がより厳しくなっているような気がする(玩具)。■観光関連業 個人客が少なく、購買に結びにくいように感じる。需要の改善が一向に見られない(萩焼)。萩市での売上は全く伸びていないが、首都圏域での販路拡大でカバーしている。本日に萩市の観光客数が増えているか疑問(工房)。

項目 / 業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均	
生産・売上	前期比	▲60.0	20.0	62.5	44.4	40.0	44.4	23.2	▲44.6	9.3
	前年同期比	▲10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	▲33.3	0.0	▲22.8	▲13.0
	25年7月～9月期見通し	10.0	0.0	50.0	22.2	20.0	▲33.3	10.7	▲5.3	▲51.9
収益	前期比	▲40.0	30.0	12.5	22.2	40.0	22.2	14.3	▲40.4	9.3
	前年同期比	20.0	20.0	▲12.5	44.4	10.0	▲33.3	8.9	▲28.1	▲22.2
	25年7月～9月期見通し	0.0	0.0	12.5	11.1	40.0	▲33.3	5.4	▲8.8	▲53.7
資金繰り	前期比	▲10.0	10.0	0.0	12.5	10.0	0.0	3.6	▲10.7	▲7.4
	25年7月～9月期見通し	▲20.0	20.0	▲12.5	0.0	10.0	▲33.3	▲5.5	▲17.9	▲31.5
従業員数	25年6月末	11.1	10.0	▲37.5	0.0	30.0	11.1	5.5	10.7	▲1.9
設備投資	(実績)	30.0	10.0	0.0	22.2	10.0	22.2	16.1	15.8	11.1
	(計画)	30.0	0.0	12.5	33.3	10.0	44.4	21.4	15.8	16.7
業界動向	0.0	▲20.0	▲37.5	▲11.1	▲20.0	▲44.4	▲21.4	▲54.4	▲72.2	